

最新齒科衛生士教本

用語集

ポケット版



一般社団法人
全国齒科衛生士教育協議会 監修

*Textbook for
Dental Hygienist
Education*



医歯薬出版株式会社

あ

アーカンサスストーン [アーカンサスストーン] 【arkansas stone】『予処・保指』

天然石の仕上げ用の砥石。潤滑剤はオイル(鉱物油)。スケーラーのシャープニングに使用する。

アーチレングスディスキレパンシー [アーチレングスディスキレパンシー] 【arch length discrepancy】『矯正』

歯の排列に利用できる歯列弓長(アベイラブルアーチレングス)から歯の排列に必要な歯列弓長(リクワイヤードアーチレングス)を引いた値で示され、永久歯が排列できるスペースがあるかを表す。値がマイナスであれば叢生、逆にプラスであれば空隙歯列弓となる。

アーチワイヤー [アーチワイヤー] 【arch wire, archwire】『矯正』『材料』
矯正用の金属線。マルチブラケット装置に用いて、ブラケットやチューブを介して歯に矯正力を加える。

アーライン [アーライン] 【ah-line】『補綴』

患者に「アー」と発音させたときに軟口蓋と硬口蓋の境界にできる口蓋振動線。上顎義歯床後縁の設定のための基準となる。

アイスマッサージ [アイスマッサージ] 【ice massage】『高齢』

嚥下の間接訓練の1つ。冷やした綿棒などを用いて、口腔から咽頭を刺激すること。意識レベルの改善、食事前の準備運動として用い

る。
＝寒冷刺激法

アウトカム評価 [アウトカムヒョウカ] 【outcomes assessment】『生態』
疾患量や医療費の減少など保健事業の成果の評価。アウトカムとは結果や評価の意味である。

アウトプット評価 [アウトプットヒョウカ] 【outputs assessment】『生態』
事業の実施回数、受診者数などの事業実施量の評価。アウトプットとは生産高、生産活動の意味である。

亜鉛 [アエン] 【zinc】『栄養』
成長や免疫、味覚、皮膚や骨などの機能維持に関わる微量ミネラル。酵素の成分の1つ。

アクシデント [アクシデント] 【accident】『診補』
事故。ミスが事故に至った場合のこと。

アクションカード [アクションカード] 【action card】『生態』
緊急時に行う内容を具体的に示した行動指標カードのこと。

悪性黒色腫 [アクセイコクショクシュ] 【malignant melanoma】『病理』『口外』
口腔粘膜などのメラニン産生細胞(メラノサイト)に由来する悪性腫瘍。

悪性腫瘍 [アクセイシュヨウ] 【malignant tumor】『病理』『薬理』『診補』
がん。増殖速度が早く、周囲への浸潤、他臓器への転移により死に至ることが多い腫瘍。

悪性上皮性腫瘍 [アクセイジョウヒセイシュヨウ] 【malignant epithelial tumor】『病理』『口外』

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

に

disturbance of mouth opening, lock jaw, limitation of mouth opening】『高齢』『障害』

開口が困難なこと。原因は脳血管障害や顎関節症などさまざまである。

開口反射 [カイコウハンシャ] 【jaw opening reflex】『口解・口生』

三叉神経第2枝(上顎神経)、第3枝(下顎神経)の感覚神経の支配領域に強い触圧刺激あるいは痛み刺激が加わると開口が生じること。

介護給付 [カイゴキユウフ] 『法律』『高齢』『生態』

介護保険の給付のこと。居宅サービスを受けたときに支給される居宅介護サービス費、居宅介護支援を受けた場合の居宅介護支援サービス計画費、介護保険施設に入所している要介護者に対して支給される施設介護サービス費、2006年より創設された地域密着型介護サービス費などがある。

介護サービス [カイゴサービス] 『生態』

介護保険制度において要介護1～5と判定された際、介護サービス計画に応じ受けることのできるサービス。

介護サービス計画 [カイゴサービスケイカク] 『高齢』

介護保険で利用者が受けるサービス計画(ケアプラン)のこと。居宅サービス計画や施設サービス計画、介護予防サービス計画などがある。

介護支援専門員 [カイゴシエンセンモンイン] 『法律』『DH総論』『高齢』『障害』

介護保険法において、要支援・要

介護認定を受けた人からの相談を受け、居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、ほかの介護サービス事業者との連絡、調整などをとりまとめる職種。国家資格である。

＝ケアマネジャー

介護認定審査会 [カイゴニンテイシンサカイ] 『法律』『高齢』

介護保険制度において介護保険給付がなされる要介護等の状態にあるかどうか、どの程度かを確認するために、市町村などに設置され、要介護認定を行う審査会。

介護福祉士 [カイゴフクシシ] 『法律』『DH総論』『障害』『高齢』

社会福祉士及び介護福祉士法により規定され、社会福祉の増進に寄与することを目的として高齢者施設や障害者施設、その他の社会福祉施設に勤務し、高齢者や障害者の心身の状況に合わせた入浴、食事、排泄などの介護を行う者。また、介護に関する指導なども行うことを業とする者。国家資格である。

介護扶助 [カイゴフジョ] 『法律』

介護保険法に規定する要介護者および要支援者に対し、居宅介護(介護サービス計画に基づくものに限る)、福祉用具、住宅改修、施設介護など、介護保険と同一内容の介護サービスを給付するもの。

介護保険施設 [カイゴホケンシセツ] 『高齢』

介護保険制度で施設介護(入所)サービスを提供する施設。介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院がある。

紫外線滅菌 [シカイセンメッキン] 【sterilization by ultraviolet irradiation】『微生物』

波長が260nm付近の紫外線を照射し滅菌する方法。実験室や手術室の空気や器具の表面の殺菌に用いられる。プラスチック製品を劣化させる。

歯科医療振興財団 [シカイリョウシンコウサイダン] 『法律』

厚生労働大臣の指定を受け、歯科衛生士名簿への登録事務、歯科衛生士国家試験実施事務などを行っている機関。

歯科衛生アセスメント [シカエイセイアセスメント] 【dental hygiene assessment】『DH総論』『予処・保指』

歯科衛生過程における歯科衛生介入前の評価。対象者の問題やその原因を把握するために、対象者自身や対象者の生活環境などの情報を収集し、それらの情報を歯科衛生士の視点で処理(整理・分類, 解釈・分析)する。

=アセスメント(歯科衛生過程の)

歯科衛生介入 [シカエイセイカイニユウ] 【dental hygiene intervention】『DH総論』『予処・保指』

立案した歯科衛生計画に沿って、対象者の問題解決のために歯科衛生士が行う支援・援助。

歯科衛生学 [シカエイセイガク] 『DH総論』

歯科衛生士が、歯牙および口腔の疾患の予防処置、歯科診療の補助および歯科保健指導を中心とした歯科衛生業務を専門職として実施するための理論的・実践的根拠となる学問体系。

歯科衛生過程 [シカエイセイカテイ] 【dental hygiene process】『DH総論』『予処・保指』

科学的な根拠を基に歯科衛生業務を展開するための思考過程。「歯科科衛生アセスメント」, 「歯科衛生診断」, 「歯科衛生計画」, 「歯科衛生介入」, 「歯科衛生評価」, 「書面化(記録)」の6つで構成されている。対象者に関わる歯科医療従事者全員で情報を共有しつつ、適切な歯科衛生介入を継続して行えるようにすることが目的である。

歯科衛生業務 [シカエイセイギョウム]

【dental hygiene practice】『歯周』
歯科衛生士が行う業務。

歯科衛生計画 [シカエイセイケイカク]

【dental hygiene plan】『DH総論』『予処・保指』

歯科衛生診断で明示された対象者の問題を解決するために、目標を掲げ計画する具体的な対応策のこと。歯科衛生計画を立てることを歯科衛生計画立案という。

歯科衛生士 [シカエイセイシ] 『DH総論』

歯科衛生士法で規定され、歯科疾患の予防および口腔衛生の向上をはかることや、歯科医師の予防および口腔衛生の向上をはかることを目的とする専門職。歯科医師の指導の下に、歯科予防処置、歯科診療の補助、歯科保健指導を行うことを業とする者。国家資格。

歯科衛生士学校養成所指定規則 [シカエイセイシガッコウヨウセイジョシテイキソク] 『DH総論』

歯科衛生士を養成する学校・養成機関の要件を定めた厚生労働省令。

は

バー [切削具の] [バー[セツサクグノ]

【bur】『機器』

回転切削具などに設置する先端部分。

パーキンソン病 [パーキンソンビョウ]

【Parkinson disease, Parkinson's disease】『高齢』『障害』

神経変性疾患の1つ。脳内の神経伝達物質であるドーパミンが減少するために、大脳の運動調節機能が障害を受け、運動性・精神性の活動が低下し、スムーズな運動ができなくなる病気。

パーシャルデンチャー [パーシャルデン

チャー]【partial denture】

⇒部分床義歯

パーセンタイル [パーセンタイル]【per-

centile】『小児』

計測値の分布を小さいほうから並べてパーセントでみた数字のこと。10パーセンタイル値は、100人中低いほうから10番目ということを示す。身体発育の評価に用いる。

バードビークプライヤー [バードビーク

プライヤー]【bird beak pliers】『機器』『矯正』

ワイヤーベンディングプライヤーの1つ。比較的細いラウンドワイヤーの屈曲に用いるプライヤーで、各種ループの屈曲に適している。ビークは小型で、一方は円錐形、もう一方は角錐形である。

パームグリップ [パームグリップ]【palm

grip】

⇒掌握状把持法

⇨逆パームグリップ

バイアス [バイアス]【bias】『統計』

測定の指標を真の値から歪めるもの。

肺炎 [ハイエン]【pneumonia】『診補』
『高齢』

気道を通して侵入した細菌やウイルスなどの病原体が肺内で増殖し、肺胞に炎症を起こした状態。発熱、悪寒、咳、胸痛、呼吸困難などの症状が出る。

肺炎球菌 [ハイエンキョウキン]【*Streptococcus pneumoniae*】『微生物』

全肺炎の10～30%の要因である細菌。副鼻腔炎や中耳炎を起こす場合もある。

肺炎マイコプラズマ [ハイエンマイコプラズマ]【*Mycoplasma pneumoniae*】

『微生物』

自己増殖能を有する最小の微生物。目玉焼き状のコロニー形態を呈する。感染患者からの飛沫と接触により感染し、マイコプラズマ肺炎を起こす。

バイオアベイラビリティ [バイオアベ

ラビリティ]【bioavailability】

⇒生物学的利用能

バイオエシックス [バイオエシックス]【bioethics】

⇒生命倫理(学)

バイオネーター [バイオネーター]【bionator】『矯正』

機能的矯正装置。主に下顎骨の後方位による上顎前突の改善を目的として使用される。下顎の成長促進をはかる。アクチバトールに比べて使用しやすい。

バイオハザードマーク [バイオハザード

ま

マイクロスコープ【マイクロスコープ】

【microscope】『機器』『保存』
 歯科用の実体顕微鏡。治療部位を約20～25倍まで拡大できる。

マイクロ波【マイクロハ】【microwave】
『生態』

通信、レーダーなどで利用されている電波。電子レンジとしても利用されている。眼に対しては白内障を起こし、睾丸も障害を受けやすい。

マイクロモーター【マイクロモーター】
【micromotor】『機器』『保存』

圧搾空気などを動力源とする100～40,000rpmの低速回転切削用モーター。口腔内で使用するコントラングル型(CA)と、チェアサイドで使用するストレート型(HP)がある。

マイコプラズマ肺炎【マイコプラズマハイエン】
【Mycoplasma pneumonia】『微生物』

マイコプラズマによる肺炎。幼児から学童に多く、発熱、頭痛、咳を生じる。症状が軽いため、集団内で大きな流行となることがある。

マイセル【マイセル】【MeiBel<独>】
⇒骨ノミ**埋伏歯**【マイフクシ】【impacted tooth】
『口外』『口解・口生』『病理』『生態』『矯正』

通常の萌出時期を過ぎてても萌出しない歯。上顎犬歯、正中過剰歯、下顎第三臼歯に多い。

前向き研究【マエムキケンキョウ】
【prospective study】『統計』『生態』

研究開始時点から将来に向かって罹患情報を収集する調査。

前向きコホート研究【マエムキコホートケンキョウ】
【prospective cohort study】
『生態』『統計』

現在、原因因子に曝露されている集団と曝露されていない集団に分け、それぞれの集団で将来どのように疾病や異常が発生していくかを検討する研究。追跡研究である。

マキシラアングル【マキシラアングル】
【maxilla angle】『予処・保指』

床面と上顎咬合平面とのなす角度。
マグネシウム【マグネシウム】
【magnesium】『栄養』

多量ミネラルの1つ。生体内の物質代謝に重要な働きをする。300種類以上の酵素反応に関わっている。

マグネット方式(磁歪振動子)【マグネットホウシキ(ジワイシンドウシ)】
【magnetostrictive】『予処・保指』

超音波スケーラーの電気エネルギーを超音波機械振動に変換する方法の1つ。チップの先端が楕円運動する。ペースメーカー使用者には禁忌である。

マクロファージ【マクロファージ】
【macrophage】『微生物』『栄養』『病理』『薬理』
免疫担当細胞の1つ。ヒトの体に侵入した病原体(抗原)を貪食する抗原提示細胞。抗体やT細胞に刺激されると、細胞内の殺菌能が増強される。**マクロライド系抗菌薬**【マクロライドケイコウキンヤク】
【macrolides】『薬理』『口外』